

用語の解説

◇エンパワーメント (empowerment)

「力 (パワー) をつけること。」

政治・経済・社会・家庭などのあらゆる分野で、自分たちのことは自分たちで決め、行動できるよう能力をつけ、パワーアップしようとする概念のことです。

特に女性にとって、経済的な自立と意思決定の場への参画が課題となっています。第4回世界女性会議においても「女性のエンパワーメント」が主要課題となりました。

◇固定的性別役割分担意識

「男は仕事、女は家庭」「男は主、女は従」というように、性の違いによって役割を固定してしまう考え方や意識をいいます。

また、「男らしさ、女らしさ」を求めることも、この固定的役割分担意識に基づく男女それぞれの役割への期待が反映されているものといわれています。

◇参加・参画

「参加」は単に仲間に加わることをいいますが、「参画」は、企画・計画立案の段階から積極的・主体的にかかわるという意味でとらえられています。

◇ジェンダー

男女には生まれながらに存在する性別があります。生殖器官の違いはそれにあたります。女性が生む性であるということは、この性差の大きな意味を持っています。しかし、生殖器官の違いのほかにも男女にはそれぞれの特性があると多くの人は考えています。たとえば、「家庭的」「細部に気がつく」「献身的」「感情的」「依存心が強い」などは女性の特性で、「機械操作が得意」「暴力的」「頼りがいがある」「冒険心がある」「論理的」などは男性の特性だと思っている人は少なくありません。しかし、よく考えてみると、女性が「家庭的」で「依存心がつよい」のは、性別による役割分担社会の中で女性は家庭内で無償労働が担わされてきたことによってつくられた特性であり、男性が「冒険心があり」「頼りがいがある」のは外の世界で有償の仕事を任されてきたからであるということが出来ます。すなわち、これらの男女の特性は本来のものではなく社会的に作られたものなのです。このような社会的性別のことをジェンダーといいます。

◇性の商品化

売春、ポルノ、性を強調した広告など、女性の全人格の中から性的な部分だけを切り離し、あたかも商品のようにモノ扱いすることをいいます。

◇セクシュアル・ハラスメント (sexual harassment)

相手の意に反した性的な性質の言動で、身体への不必要な接触、性的関係の強要、性的な噂の流布などさまざまなものがあります。一般に「セクハラ」と略して使われますが、職場以外でも問題となっています。

◇男女共同参画社会

「男だから、女だから」といった性別にこだわることなく、男女が社会の対等な構成員としてそれぞれの個性と能力を發揮して、家庭・職場・地域など社会のあらゆる分野にともに参画し、責任を担い合っていく社会のことです。

◇「特性論」

男性と女性は生物学的に異なっているため要求も能力も異なり、それが社会的役割に反映されるにちがいません。男性と女性との間には本質的で変えることができない差異があります。従って、女性に生まれたか、男性に生まれたかによって、その人自身の持っている生き方や働き方に制約が生じ、役割を決めてしまうことになります。そのことは、女性にとっても男性にとっても不自由なこととなり、性による差別につながります。多様な生き方や働き方を可能にし、いきいき活躍できる「男女共同参画社会」を築くためには、生物学的な違いが不利にならないように十分配慮し、「生物学的な違い」ではなく、個々の人間が自分らしく生き方を選択できる社会が必要になります。

◇ドメスティック・バイオレンス (domestic violence)

「夫婦 (恋人) 間暴力」のことで、パートナーからの暴力をいいます。殴る、けるといった身体的暴力だけでなく、言葉による精神的暴力、性的暴力などいろいろな形で私たちの身近に存在します。

これまでは、夫婦げんかと見過ごされてきましたが、最近では、人権を犯す行為であり、大きな社会問題であるという認識が高まっています。

◇ヘルスプロモーション

「人々が自らの健康をコントロールし、改善できるようにするプロセスである」と定義し、健康を生きることの目的ではなく、生活の資源と位置づけています。また、ヘルスプロモーション活動の方法として、1.健康的な公共政策づくり、2.健康を支援する環境づくり、3.地域活動の強化、4.個人技術の向上、5.ヘルスサービスの方向転換の5つを挙げています。

◇メディア・リテラシー (media literacy)

メディアが発信する情報を批判的に分析し、メディアに対して主体性を持つ能力と、メディアを使って自分自身の考えを表現する能力。メディアから発信される固定観念を見極める能力や固定観念にとらわれない表現を使った発信能力などのことをいいます。

◇無償労働

家事・育児・介護といった家族の世話、地域で行うボランティア活動など賃金が支払われない労働のことで、アンペイドワークともいいます。

その多くを女性が担ってきましたが、人間の生命や地

域生活の維持にとって必要なものであり、男女がともに担っていくことが求められます。

◇リプロダクティブ・ヘルス/ライツ (reproductive health/rights)

リプロダクティブ・ヘルスとは、妊娠・出産というしくみからだにもつ、女性の一生を通じた健康のことをいいます。強制でなく安全で満足な性生活を営めること、また、いつ何人子供を生むか、あるいは生まないかということを女性自身の意思で選択していく権利を、リプロダクティブ・ライツ（性と生殖の自己決定権）といいます。これらを含めて「性と生殖に関する健康及び権利」と訳されています。